

# 学校便り

札幌市立八軒中学校

学校便り第8号

2017. 12. 25

<http://www.hachiken-e.sapporo-c.ed.jp/>

## 「人」としての底力を蓄える

校長 富田 真由美

2017年の世相を表す「今年の漢字」は「北」でした。北朝鮮のミサイル発射や核実験、九州北部の豪雨による大きな被害、昨夏の台風被害による北海道産のじゃがいもの不作、北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手のメジャーリーグ入り、清宮幸太郎選手の入団、競馬界でのキタサンブラックの活躍などが理由でした。「北」という漢字は二人の人が背を向けている形から成っているとされています。「南」と比べると負の印象が強い漢字ですが、この二人が回れ右をしてみると、手と手を取り合って協力し合う形になります。「北」にはピンチをチャンスに変える底力があることを暗示しているようにも思えます。

北海道のお土産の定番「白い恋人」で有名な石屋製菓は、顧客の信用をなくしてしまうような事態を起こし、倒産寸前まで追い込まれたことがありました。1週間、朝から晩まで苦情電話が鳴り止まず、厳しい叱責に耐え切れず泣き出す社員も出るほどの大変な状況にありました。それでも応援してくれる声をバネに、信頼回復に取り組み、機械音やお菓子の焼き色の異変があればすぐに製造ラインを止めて、原因・対策が分かるまで稼働させないなど安心安全を第一に品質管理の徹底に努めてきました。ラインを停止すると大量の廃棄が出てしまい、それまでの従業員の労力も無駄になるわけですからモチベーションも下がります。実際「やってられない」と辞めていく人も。でも、そこからまた新たな作業効率の工夫がなされ、経常赤字からわずか1年で過去最高の売り上げまで伸ばすことができました。二度と不祥事を起こさないという固い決意が、ピンチをチャンスに変えたといえるでしょう。「北」に秘められた「人」の底力に勇気が湧きます。

2学期は学校祭、合唱コンクールと大きな行事があり、各学級が目標に向かって懸命に取り組んできました。活動を通して級友の良さを発見したり、仲間存在に感謝したりすることが多くあり、仲間としての絆を強める一方で、そんな仲間との活動から自分を見つめ直す機会も多くもあったのではないのでしょうか。1年生は委員会や部活動の中でも求められることも多くなり、責任も増してきました。2年生は学校の中核をなして様々な場面でリーダーシップを発揮する立場となりました。職業体験で社会人として働いている人たちから働くことの喜びや意義を学んできたことの中には、リーダーとして役に立つことがたくさんあったことと思います。3年生は進路選択にあたって自分を深く見つめる時間が必要であったと思いますし、これからは進路実現に向かって一層自分との闘いが始まります。皆さんが2学期で培ってきた「仲間を理解する力」や「仲間を助ける力」は、自分の視野を広げさせ、忍耐と寛容さを身に付けさせ、大人へと成長させてくれました。一人で悩み苦しむこともまた成長するためには必要な力となります。その力は、きっと、逆境にあってもピンチをチャンスに変えることのできる、「人」としての底力となることと思います。

それでは、来年も八軒中学校の皆さんが元気で明るく精一杯力を発揮できる年となることをお祈りいたします。どうぞ皆様、よいお年をお迎えください。

### 1・2月の主な行事予定

※詳細は「月別行事予定表」でご確認ください。

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 1月15日(月) | 始業式                 |
|          | 3年生学年末テスト(国)        |
| 16日(火)   | 3年生学年末テスト<br>(数社理英) |
| 19日(金)   | 2学年集会、全協(16:10)     |
| 23日(火)   | 2学年講演会              |
| 26日(金)   | 学校公開日(～30日)         |
|          | 7組見学日(～30日)         |
| 29日(月)   | 7組入試(～30日)          |
| 31日(水)   | 委員会活動日              |
| 2月5日(月)  | 生活向上週間(～9日)         |
|          | 入学説明会(15:00)        |

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 9日(金)  | 職員会議、完全下校                    |
| 14日(水) | 公立高校推薦入試                     |
| 15日(木) | 私立高校A日程下見<br>学年末テスト①(1・2年生)  |
|        | 3学年集会、完全下校                   |
| 16日(金) | 私立高校A日程入試I<br>学年末テスト②(1・2年生) |
|        | 7組スキー学習①、PTA運営委員会            |

納入金振替日・・・1月9日(火)・18日(木) 予備日、2月8日(木)・19日(月) 予備日

## 2 学期を振り返って (3 年生)

### 石井 陽平 (3 年 3 組)

僕にとって 2 学期は、「苦難」と「成長」の日々でした。夏休みが終わり、多くの 3 年生が部活動を引退になりました。受験勉強も本格的に始まり、僕たちは 3 回の学力テストを受け、その結果をもとに志望校をどうするか、最終的に決めることになりました。僕の結果は、はっきり言って良い点数ではなく、志望校を変更しようとも考えました。しかし、先生や友達にも「諦めるには早いんじゃない」「今からもっと勉強すれば間に合うよ」などと励まされ、今まで以上に力を入れて勉強し、模試の結果も上向きになってきました。僕は、諦めないことは大事なのだと実感しました。何よりも「応援の力」というものを改めて知り、応援してくれる人がいるということ、あたたかい言葉をかけてくれる人の存在が、どれほどありがたいかを知りました。

また、僕は前期、議長を初めて行い、分からないことが多かったですが、クラスメイトや議長団の協力によって学級会を予定通りに進めることができました。これで自信がついた僕は、後期に以前から興味があった代表委員に立候補しました。これも僕にとって初めての経験でした。代表委員になって一番悩んだことは、常に「代表」という言葉がついてまわってくるということです。ふけることが多い僕は、それを抑えなければならないことが、集団の前に立つ人なのだと学びました。

2 学期は、1 年の中で一番長く大変な時期です。その中で多くの苦難がありました。しかし、支えてくれる人達のお蔭で僕は成長できたと思っています。支えてくれるありがたさを知ることのできた 2 学期でした。僕もこれから、誰かを支えることのできる人間になっていきたいと思いました。



学校祭の様子



7 組 学校祭発表



認証式の様子



合唱コンクール練習



合唱コンクール 本番

## 生徒会 歳末募金活動

生徒会執行委員では、12 月 12 日 (火) ~14 日 (木) までの 3 日間で、歳末助け合い募金活動を行いました。以下、執行委員の感想を紹介します。

### 生徒会執行委員：森井 柊太朗(2 年 1 組)

私たち執行委員会は 1 人 1 人世界中でどのような問題が起きているか調べ意見を交流して世界中で様々な問題を抱えていると知りました。そして、今回はいつもあまり目を向けていない野生動物の保護をしている世界自然保護基金とアフリカなどの発展途上国の子ども達を支援している国連 WFP に募金することにしました。募金するところが決まり、早速作業を始めました。全校のみんなにより募金に関心をもってもらうためにはどうしたらいいかと考え、総合の時間に代表が説明するのではなく、自分たちで説明していくことにしました。その甲斐もあり、今回の募金の金額は去年より約 1 万 7 千円上回りました。そして、今回のテーマである「助走」の意味の「助け合って走ろう」と「この募金をきっかけに一緒に走り出すための助走」という 2 つの目標を達成できたと思います。この募金をきっかけに、みんなにも少しでも色んなことに目を向けてほしいと思います。



皆さんの協力で、**47,196** 円の募金額が集まりました。ありがとうございました。

## はちけん みんなの 音楽会

12 月 2 日 (土) 本校体育館で「第 28 回 はちけん みんなの 音楽会」が行われました。本校の吹奏楽部、合唱部や近隣の学校が参加。多くの保護者や地域のみなさんにお越しいただきました。



### 【感謝状が授与されました】

札幌人権擁護委員連合会主催「第 37 回全国中学生人権作文コンテスト」で本校に感謝状が贈られました。